

認知症になっても住みよい暮らしができるために、 医療・介護職は何ができるか？

認知症の人が増加する中で、たとえ認知症になっても、住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けることができる社会の実現に、多くの関心が集まっています。

その中で、医療・介護のプロフェッショナルには、認知症の疑いがある人を早期診断、早期対応につなぎ、できる限り重度化を遅らせ、また、本人の意思を尊重して、家族や介護者に適時、適切な助言を行う役割があります。

そこで、この研修会では、認知症になっても自宅で暮らし続けることができるよう、認知症の早期発見に対する知識を深め、地域ぐるみで支えている先進事例を共に学びます。

日 時 平成 30 年 1 月 21 日(日) 13 時 30 分～16 時 30 分(13 時受付開始)

場 所 静岡県コンベンションアーツセンター **グランシップ** 大ホール・海
(静岡市駿河区池田 79-4 JR 東静岡駅下車徒歩 4 分)

対 象 静岡市内にお勤めの**医療・介護専門職の皆様** 定員 300 人(申込順)

申込方法 裏面「参加申込書」により、FAXでお申し込みください。 **参加費無料**

[申込先] 静岡市地域包括ケア推進本部 FAX 054-221-1577

プログラム(予定)

第 1 部 講 演 「認知症に、専門職はどう関わっていくのか」

講 師 認知症介護研究・研修東京センター センター長 山口 晴保 氏

第 2 部 講 演 「大牟田市における地域ぐるみの支え合い活動」

講 師 大牟田市認知症ライフサポート研究会 運営委員

医療法人親仁会 小規模多機能ホーム いまやまの家 ホーム長 梅崎 優貴 氏

第 3 部 グループワーク 「認知症の気づきと、つなぎ」

静岡市 地域包括ケア推進本部 あて

FAX 054-221-1577 送付文不要

[締切：平成30年1月12日（金）必着]

平成29年度 静岡市医療・介護専門職のための研修会

参加申込書

平成30年1月21日（日）開催 場所：グランシップ 大ホール・海

記入者	事業所名	
	所属	
	氏名	
	電話番号	

参加者

所属・役職	資格 (医師、歯科医師、薬剤師、看護師、 ケアマネジャー、社会福祉士、介護福祉士等)	ふりがな 氏名

【注意事項】

- ・記載内容は、当日配付する参加者名簿に掲載する予定です。
- ・グループワークの構成は、事務局が当日までに決定いたします。